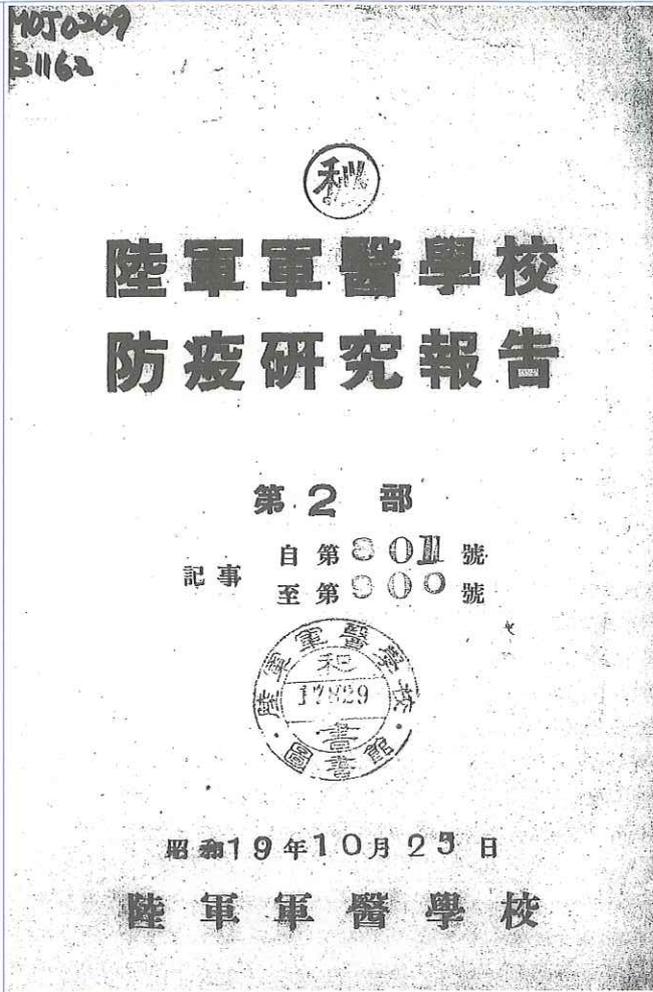


十五年戦争極秘資料集

アメリカで作成された「図書カード」



Rikugun Junigakou, Seiki Kenkyu Jinkoku-Jal-Hitsu
 MOJ 0209 陸軍軍医学校防疫研究報告 第2部
 (2 vols) ... 空, 東京
 1921 Nos. 1-120 (v. 1, 19, 95)
 1922 Nos. 130-230 (v. 119, 124, 135, 139, 199)
 Nos. 231-330
 : 331-430 (v. 321, 332, 364)
 1943 Nos. 501-599 (v. 472, 473)
 : 501-600
 1944 Nos. 700-799
 : 801-900

MICROFILMED 1985
 LIBRARY OF CONGRESS
 PHOTODUPLICATION SERVICE
 WASHINGTON, D.C.

補卷23 陸軍軍医学校防疫研究報告

全8冊・別冊1

常石敬一 解説

本体価格

各冊20,000円+税
 別冊のみ1,000円+税

★戦前の「七三二部隊」「一〇〇部隊」等を統轄する、陸軍軍医学校防疫研究室
 (石井四郎主幹)の研究の全容を知る極秘資料を復刻、解説を付して刊行!



不二出版

写真提供—常石敬一
 '04年5月3日、L.C.にて撮影

戦前の日本陸軍が、人体実験をしてきたという証拠はすでに数多く発掘され、当時の関係者の証言も含め今日、それを疑う者はないであろう。しかし、「七三一部隊」等において行なわれていた「研究」の全容を知る資料は今までなかった。弊社では、米国議会図書館(L.C.)にあるマイクロフィルム版「陸軍軍医学校防疫研究報告 第二部」全八リールをとりよせ、現在、日本国内で唯一所蔵している山中恒氏所蔵本とあわせ、約八〇〇号分を復刻する。

ハバロフスクにおける戦犯裁判によって、初めて世界に知らされてから、すでに半世紀。旧陸軍の「悪魔の所業」といわれた人体実験を含む関東軍七三一及び一〇〇部隊の基本資料が、ここに初めて公開される。

※復刻にあたって

本マイクロフィルムには、米国において翻訳したと思われる痕跡が見られる。これらの書き込み、英文、アンダーライン等は貴重な記録であるので、復刻に際し、一切消すことなく残した。本復刻版は、原本を約76%縮小し、かつ四面付方式によって印刷した。そのため、判読しにくい箇所、またマイクロフィルムのために写りの悪い写真が多いが、出来る限りの技術を駆使して印刷した。

表1 豚「豚」死亡者ニ就テノ菌検査成績

Table with columns for birthplace, name, sex, age, and various organ test results (lung, heart, liver, etc.) for pig subjects.

表2 皮膚

Table with columns for birthplace, name, sex, age, and skin test results.

AUTHOR 陸軍軍医学校防疫研究室

TITLE 陸軍軍医学校防疫研究報告

PLACE TOKYO

DATE 1941-1944

VOLUME NOS.1-700, 801-900

B116Z CALL No.

MOJ 0209 MICROFILM SHELF No.

内容見本 (80%縮小してあります)

陸軍軍医学校防疫研究報告 第2部 第109號

武漢附近ニ於ケルゲルトネル氏腸炎菌ニ就テ (第2報) 分離菌ノ家兎ニ於ケル経口感染試験

陸軍軍医学校軍防疫学教室 (主任 石井大佐)

陸軍軍醫大尉 溝上三郎



Table with columns for volume (第2部), author (原 著), classification (分類), and page count (受附).

Table-Of-Contents listing chapters from 第1章 緒言 to 第5章 結文.

第1章 緒言

ゲルトネル氏菌ノ家兎ニ於ケル経口感染試験ニ就テハ諸家ノ實驗成績ハ異々ニシテ、成立セザリシモノモ (長野: 最上、山賀 (1) 羽生 (2))、或ハ體內臓器ニ侵入シ得ルモ發症セザリシモノモ (中村 (3) 竹下 (4))、或ハ菌株ニ依リテ發症シ得ルモノトアリ、特ニ幼童ノ家兎ニ於テ發症シ得ルモノトナシトナスモノアリ。(岡、三好: 島田 (5)) 三好、島田 (6)ノ詳細ナル實驗成績ハ本報ニ於テゲルトネル氏菌ノ経口感染發症ノ成立ニ關シテ詳細ニ記述スルモノトナリ、尙實驗ノ回ヲ更スルニ從ヒ發症シタル家兎ノ分離シタルモノヲ使用セリ、對照シテB型パラチフス菌 (中支ニ於テ分離シタルモノ)ニ對シテ同様に實驗セリ。

第2章 實驗材料

山本株 (「アヤコ」型) 小田田株 (「ブレイグム」型) 石井株 (「モスコ」型) ノ3株ニシテ武漢附近ニ於テ分離セル定型ノゲルトネル氏菌ナリ。此等ノ菌株ハ分離當初12-13日「マウス」ニ對シテ100 mg - 100 mg 腹腔内注射ニテ3-4日ニテ之ヲ殺シ、經口感染ニテ7-11日ニテ100%ニ至リ得ル菌力ヲ有シタルモノナリ。使用前數回「マウス」ヲ通過セシメテ用ヒタリ、尙實驗ノ回ヲ更スルニ從ヒ發症シタル家兎ノ分離シタルモノヲ使用セリ、對照シテB型パラチフス菌 (中支ニ於テ分離シタルモノ)ニ對シテ同様に實驗セリ。

第2節 試驗家兎

概ネ2 kg内外乃至3 kg時ニ4 kgノ白色家兎ヲ用ヒタリ、又雌雄兩者トモ使用セリ。

第4章 實驗成績

第1表ニ示ス如ク5回ニ亙リ同菌株ヲ用ヒテ實驗セリ、結果トシテ合計31匹ノ家兎ニ於テ、ソノ33匹ニ發症シタル家兎ニ對シテ5匹ニ發症致死セシメ得タリ。以下ニ其細部ヲ述ベン。

第1表 ゲルトネル氏菌家兎経口感染試験

Table with columns for date, name, sex, age, and various test results (blood, organs, etc.) for rabbit subjects.

備考 1) 體温 40°C以上 +39-40°C ±0.3°C前後 一般ニ又以下 2) 體温 38°C以下 中等ニ +38°C 軽度ニ +37°C 3) 菌檢出 + 直接培養法 ⊕ 培養ニテ陽性

第3章 實驗方法

第1節 感染方法 家兎ノ空腹時 (朝投前2-3時間) 各試験菌ヲ普通寒天斜面18-20時間培養ノ後ノ2白食料ヲ中程ヲ挿入シ後ハハス少許ノ餌ヲ與ヘタリ、尙實驗第2ニ於テハ4匹ノ家兎中2匹ノ家兎ニ1.0 mgノ「ネフロン」カテーテルヲ以テ胃内ニ注入シ置キテ實驗セリ (7)。

第2節 一般状態検査方法

第1項 體温 體温ハ毎朝食前ニ測定シ (2-3時間) 肛門内ニテ1分間計ヲ用ヒテ測定セリ。 第2項 體重 體重ハ2-3日毎ニ體温測定後之ヲ計測セリ。 第3項 其他 心氣ナリキ、活潑ナリキ、或ハ下痢ヲ起シタルモノ等ノ症狀ヲ觀察セリ。

第3節 菌検査方法

第1項 生中ニ於ケル菌検査 (1) 尿、菌投後第3日マダ毎日、菌投後時ニ隔日毎ニ採尿ヲ採取シ直ニ「カウフマン」氏増菌培地ニ投入シテ菌ノ有無ヲ檢セリ。 (2) 尿、菌投後5-6日ヨリ細キ「ネフロン」カテーテルヲ用ヒテ時々隔日毎ニ採尿シ、之ヲ直ニ「カウフマン」氏増菌培地ニ投入シテ菌ノ有無ヲ檢セリ。 (3) 血液、菌投後3-20日ノ間ニ於テ適時ニ採血シ、採血シテ増菌培地中ニ3日間培養シテ菌ノ有無ヲ檢セリ。

第2項 死後ニ於ケル菌検査

死後ニ於ケル菌検査ニ關シテハ可及的速ニ之ヲ檢定シ、直ニ「カウフマン」氏増菌培地ニ投入シテ菌ノ有無ヲ檢セリ。

第4節 血液検査方法

實驗開始前ノ血液ニ中間 (5-6-8日) 及最終 (11-14-20日) ノ心血ニテ「カウフマン」氏増菌培地ニ投入シテ菌ノ有無ヲ檢セリ。

第5節 血液検査方法

「パペンハイム」式計算板ヲ用ヒテ白血球總數ヲ計算シ、一方塗抹標本ヲ「ギムザ」ニ染色シ、血液ニテ検査セリ、血液ノ検査ハ概ネ菌投後ヨリ隔日毎ニ實施セリ。

第6節 觀察期間

第1第2實驗ニ於テハ20日間、第3第4第5實驗ニ於テハ14日間觀察シ生存セルモノハ最終日ニテ之ヲ屠殺セリ。

第7節 感染發症ノ判定

死後シテハ「カウフマン」氏増菌培地ニ投入シテ菌ノ有無ヲ檢定シ、生中ニ於ケル一般状態ニ

研究結果の米国への流出の実態を知る資料

常石敬一(神奈川大学教授)

今回の「防疫研究報告 第二部」の復刻は七三一部隊についての研究に新しい展望を切り開くことになるだろう。何よりも七三一部隊さらに防疫研究室の活動の全体像を明らかにする上で重要だ。そして戦後の、日本の研究結果の米国への流出の実態を知る上で貴重な資料となっている。さらに一九三〇年代から敗戦までの日本医学のワクチンなどの研究水準を知る上で必須の資料である。

七三一部隊の中枢が東京の陸軍軍医学校の防疫研究室であることを証拠立てたのは、児童読み物作家の山中恒が一九八八年に発掘した六一冊の「防疫研究報告 第二部」だった。それが今回、全体の九〇パーセントに相当する八百冊強が復刻される。寄稿者には帝大の教授も含まれ、それなりに程度の高い論文が並んでいる。また研究主題も細菌学など医学分野だけでなく、濾水機に関する工学的な論文や、ソ連などの生物戦対応能力など多岐にわたっている。

今回の復刻で重要な点は元本が米国議会図書館

(L.C.)所蔵のものだということだ。L.C.に入る前に米軍の生物戦および医学専門家が読んでおり、随所に彼らの手になると思われる書き込みがある。この書き込みを通じて一九四〇年代から五〇年代にかけての米軍の生物戦の研究水準や関心のありようを知ることができる。

医学的にも貴重な宝の山

内藤裕史(筑波大学名誉教授)

七三一部隊で行われた研究の成果が、八〇〇篇に及ぶ医学論文として系統的にまとめ発表されている、そこで行われた研究の全貌を具体的に知ることが出来る。論文表題の目次だけでなく、研究に参加、論文を執筆した研究者の個人名の索引も付されている。研究者の総数は約三〇〇名にのぼり、当時、いかに多くの医学者たちがこの研究に携わっていたかが分かる。

ひとつの研究室からだけで、数年間に八〇〇篇の論文とは、いかに精力的に研究を行っていたかが伺われる。論文の生産性だけから言えば、現在の日本でも比肩する研究室はほとんどあるまい。目的がはっきりしている研究だけに、詳細に調査

することにより、埋もれていた医学的にも貴重な知見が、次から次に現れる宝の山と見ることも出来る。

医学界の戦争負担の解明に不可欠

西山勝夫(滋賀医科大学教授)

日本の二〇世紀前半はアジア諸国への干渉と侵略の戦争に明け暮れ、日本の医学界は七三一部隊に代表される医学犯罪などで荷担したが、戦後、米国との閣取引により暴かれることなく、医学界も解明、謝罪、反省、償いなどに取り組まず、二一世紀を迎えた。この時、日本全国の医学医療関係者の有志を主にして創立された「十五年戦争と日本の医学医療研究会」は闇に紛れてきた戦争負担の史実の解明や戦後責任の取り方などの探求を始めた。

七三一部隊長であった石井四郎が主幹として主催していた当時の陸軍軍医学校防疫研究室が、抜いて発行した第二部の九百号迄の随所に米国側の書き込みがあるもののマイクロ・フィルム版で、遅くとも一九九一年には入手可能であったものが

推薦の辞(五十音順)

漸く復刻されることになった。第一部の全容が今だ不明だけでなく、第二部にも不可解な欠号があるが、本復刻の活用により、医学界の戦争負担の解明が促進されることであろう。

新たな七三一部隊解明の手掛かり

松村高夫(慶應義塾大学教授)

七三一細菌戦部隊長石井四郎が主幹を兼務した陸軍軍医学校防疫研究室の一連の研究報告は、これまで個人や大学図書館の所蔵になる一部しか知ることができなかったが、本書の刊行によりほぼその全容が現われた。八〇〇点の報告書は圧巻である。それは七三一部隊に直接間接に関わった医者たちが、一九四一年から四四年にかけて細菌兵器開発のためにどのような実験と研究を重ねたかを余すことなく明らかにする。

報告書の推進者であった内藤良一は凍結乾燥血清だけでなく細菌戦全般にわたり全体の報告数の一割を超える九九点を執筆している。内藤は朝鮮戦争時にミドリ十字の前身である日本ブラッド・バンクを設立し凍結乾燥血清を米軍に売り込み莫

大な富を得た人物である。ペストの高橋正彦は二八点、チフスの北条円了は一七点、ペストの野口圭一は一四点、ガス壊疽の植村肇は一四点という具合に七三一部隊員の執筆がつづく。植村は戦後永年にわたり教科書検定委員をつとめた人物である。部隊員以外にも続々と執筆者が登場するが、本書の刊行により日本の医学界と七三一部隊との関連性、その戦中と戦後の連続性に新たな解明の光が当てられ、七三一部隊と細菌戦の研究がもう一段高められるのは疑いえないところであろう。

本索引は百号ごとに付けられ、「内容索引」「執筆者索引」「記事索引」の三種類から成っている。



人体実験の真相にせまる報告

吉見義明(中央大学教授)

アメリカでは「日本帝国政府情報公開法」が二〇〇一年に発効したにもかかわらず、七三一部隊関係の機密資料の公開はほとんど進展していない。

このような中で、思いがけず、アメリカ議会図書館所蔵本を中心とする「防疫研究報告 第二部」が復刻されることは大きな朗報である。以前、同図書館で数冊見つけた記憶があるが、これほど大量に残っていたとは驚きである。索引によれば、ペスト・鼻疽・チフス・コレラやケオピスネズミノミ・凍結乾燥法などの研究が多いようである。農安・長春のペスト、浜松の食中毒(ゲルトネル)流行の調査や、コレラ・炭疽等々の流行に関する調査などもあるが、それだけでなく実に様々な実験や調査をやっていることがわかる。これで、各種人体実験や「一二回の野外試験」(フェル)など、七三一部隊に関する研究は一層進展するであろう。アメリカ軍がこれを用いたように利用したのかを調べる手掛かりにもなりうる、というのも興味深い。

① 大東亜戦争二伴フ我力人的国力ノ検討 高崎隆治 編・解説 ISBN4-8350-1001-9 3,500円	⑪ 俘虜二関スル諸法規類聚 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1011-6 6,500円	⑳ 戦時下国民栄養の現況調査報告書 清水勝嘉 編・解説 ISBN4-8350-1021-3 5,000円
② ババル島事件関係書類 武富登巳男 編・解説 ISBN4-8350-1002-7 2,500円	⑫ 軍律会議関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1012-4 3,500円	㉑ 満州移民拓務局原資料 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1022-1 7,500円
③ 沖繩秘密戦に関する資料 大城将保 編・解説 ISBN4-8350-1003-5 3,500円	⑬ 華中宣撫工作資料 井上久士 編・解説 ISBN4-8350-1013-2 4,500円	㉒ 国民義勇隊関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1023-X 3,500円
④ 満州事変における憲兵隊の行動に関する資料 岡部牧夫 編・解説 ISBN4-8350-1004-3 5,000円	⑭ 思想彙報(上・下) 吉田 裕 編・解説 全2冊揃 ISBN4-8350-1014-0 18,000円	㉓ 久留米師団召集徴発雇用書類 武富登巳男 編・解説 ISBN4-8350-1024-8 4,000円
⑤ 東京裁判 大山文雄関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1005-1 3,500円	⑮ 朝鮮軍概要史 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1015-9 5,500円	㉔ 台湾霧社事件軍事関係資料 春山明哲 編・解説 ISBN4-8350-1025-6 1,800円
⑥ 高等外事月報 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1006-X 6,500円	⑯ 俘虜取扱に関する諸外国からの抗議集 内海愛子 編・解説 ISBN4-8350-1016-7 6,500円	㉕ 初期の満州国軍に関する資料 岡部牧夫 編・解説 ISBN4-8350-1026-4 1,800円
⑦ 大東亜縦貫鉄道関係書類 原田勝正 編・解説 ISBN4-8350-1007-8 3,500円	⑰ 在満軍法会議處刑特殊犯罪集 山中 恒 編・解説 ISBN4-8350-1017-5 3,000円	㉖ 陸海軍省法務局長巡察報告 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1027-2 4,500円
⑧ 重慶中国国民党在港秘密機関検査状況 姫田光義 編・解説 ISBN4-8350-1008-6 6,500円	⑱ 毒ガス戦関係資料 栗屋憲太郎・吉見義明 編・解説 ISBN4-8350-1018-3 9,500円	㉗ 朝鮮思想運動概況 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1028-0 4,000円
⑨ 支那事変 動員概史 大東亜戦争間 大江志乃夫 編・解説 ISBN4-8350-1009-4 12,000円	⑲ 台湾島内情報・本島人の動向 春山明哲 編・解説 ISBN4-8350-1019-1 4,000円	㉘ 七三部隊作成資料 田中明・松村高夫 編・解説 ISBN4-8350-1029-9 14,500円
⑩ 戦争栄養失調症関係資料 清水勝嘉 編・解説 ISBN4-8350-1010-8 4,000円	㉚ 海軍法務資料 馬場東作綴 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1020-5 4,500円	㉙ 外邦兵要地凶整備誌 藤原 彰 編・解説 ISBN4-8350-1030-2 1,800円

① 毒ガス戦教育関係資料 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1031-0 18,000円	⑪ 二反長音蔵・アヘン関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1041-8 8,500円	㉑ ベンゾイン不正輸入事件関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1430-8 8,500円
② 毒ガス戦関係資料Ⅱ 吉見義明・松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1032-9 18,000円	⑫ 東亜諸民族の死亡に関する衛生統計的調査 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1042-6 12,000円	㉒ 終戦後の法令制定・改正・廃止経過一覧 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1431-6 9,800円
③ 思想彙報Ⅱ 荻野富士夫 編・解説 ISBN4-8350-1033-7 15,000円	⑬ 関東軍参謀部作成 総動員関係調査資料 永島勝介・安富 歩 編・解説 ISBN4-8350-1043-4 8,500円	㉓ 陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1 常石敬一 解説 全9冊揃 ISBN4-8350-5375-3 161,000円
④ 戦時下国民栄養の現況調査報告書(昭和18年) 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1034-5 15,000円	⑭ 軍律法廷審判例集 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1044-2 8,500円	㉔ 陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1 常石敬一 解説 全9冊揃 ISBN4-8350-5375-3 161,000円
⑤ 第二次上海事変における第九師団軍医部「陣中日誌」 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1035-3 18,000円	⑮ 南方方面海軍資料 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1045-0 6,500円	㉕ 以後、新資料発見次第、逐次刊行予定)
⑥ 盧溝橋事件期支那駐屯憲兵隊 重松関係文書 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1036-1 6,000円	⑯ 陸軍に於ける花柳病 早川紀代 編・解説 ISBN4-8350-1425-1 6,500円	
⑦ 韓国併合始末 関係資料 海野福寿 編・解説 ISBN4-8350-1037-X 6,500円	⑰ 毒ガス戦教育関係資料Ⅱ 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1426-X 8,500円	
⑧ 軍隊警察の対立と憲兵司令部 重松関係文書Ⅱ 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1038-8 6,000円	⑱ 十五年戦争末期国内憲兵分遣隊報告 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1427-8 6,000円	
⑨ 南方地域現地自活教本 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1039-6 8,500円	⑲ 日本占領下上海における日中要人インタビューの記録 高綱博文 編・解説 ISBN4-8350-1428-6 6,500円	
⑩ 戦後の皇軍 重松憲兵少佐綴 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1040-X 6,000円	⑳ 満洲国軍ノ現況 松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1429-4 18,000円	

陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1

体裁——B4判・上製・函入・四面付・総約3、400頁

収録内容——第1号（第90号（内、欠号Ⅱ8、18、19、95、116、124、191、193、321、351、364、481、701）800）

昭和14年12月～昭和19年8月までの報告を収録
『陸軍軍医学校防疫研究報告 第二部』

（陸軍軍医学校防疫学教室（主幹Ⅱ石井四郎）発行）
米国議会図書館所蔵マイクロフィルム（MOJ209）
及び、山中恒氏所蔵本

別冊——解説Ⅱ常石敬一（神奈川大学教授）・総目次＋付録Ⅱ米国L.C.

以外の所蔵（第702、710、711、725、736、763、778、780、790号）Ⅱ山中氏所蔵資料
※別冊のみ分売可Ⅱ1,000円＋税 ISBN4-8350-5364-8

推薦——常石敬一・内藤裕史・西山勝夫・松村高夫・吉見義明

- 配本
- 第1回配本Ⅱ第1冊（04年5月）本体価格20,000円＋税 ISBN4-8350-5356-7
 - 第2回配本Ⅱ第2冊（04年8月）本体価格20,000円＋税 ISBN4-8350-5357-5
 - 第3回配本Ⅱ第3冊（04年10月）本体価格20,000円＋税 ISBN4-8350-5358-3
 - 第4回配本Ⅱ第4冊（04年12月）本体価格20,000円＋税 ISBN4-8350-5359-1
 - 第5回配本Ⅱ第5冊（05年4月）本体価格20,000円＋税 ISBN4-8350-5360-5
 - 第6回配本Ⅱ第6冊（05年7月）本体価格20,000円＋税 ISBN4-8350-5361-3
 - 第7回配本Ⅱ第7冊（05年10月）本体価格20,000円＋税 ISBN4-8350-5362-1
 - 第8回配本Ⅱ第8冊（05年12月）本体価格21,000円＋税 ISBN4-8350-5363-X

揃価——全8冊・別冊Ⅱ1191,000円＋税

●関連図書〔復刻版〕のご案内

陸軍軍医学校 編「昭和11年刊」

陸軍軍医学校五十年史

本書は、昭和十一年陸軍軍医学校が創立五〇年目に刊行した、旧陸軍衛生部の基本資料である。数多くの旧陸軍衛生部の資料の中でも、本書は五〇年間の衛生部の歴史の記録であり、医学史、軍事史の研究に不可欠の資料である。

清水勝嘉 序・解説／B5判・上製・804頁
本体価格20,000円＋税 ISBN4-8350-2364-1

中国・黒龍江人民出版社 発行〔取扱図書〕

「七三部隊」罪行鉄証

——関東憲兵隊「特移扱」文書

本書は、中国黒龍江省档案馆（公文書館）所蔵の旧日本軍関東憲兵隊が作成した捕虜取扱いに関する極秘書類五一件を収録する。資料は全てカラー印刷にて収録。他に詳細な解説及び関係年表を付す。

A4判・上製・394頁
本体価格15,000円＋税 ISBN4-8350-3559-3

中国・吉林人民出版社 発行〔取扱図書〕

「七三部隊」罪行鉄証

——特移扱・防疫文書編集

本書は、中国吉林省档案馆所蔵の旧日本軍関東憲兵隊作成の「特移扱」文書及び七三一部隊が新京（現在の長春）農安で実施した「防疫」に関する文書一四〇点をカラー印刷し収録したものである。

A4判・上製・528頁
本体価格25,000円＋税 ISBN4-8350-3558-5

表示価格は全て税別

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘五丁目11番11号
TEL 03-3812-4433
FAX 03-3812-4464
振替 00160-194084